

令和元年度第3回東金市子ども・子育て会議 委員意見（1回目）と市の回答

番号	区分	内容
1	意見	<p>P 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度中において、総合計画との整合性を求めるために見直すのか？ <p>P 1 8 (10) 一時預かり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般型の一時的預かりにおいて当該園のスタンスと合わない、例えば「障害児」をはじめから預からないような事は起きないか？ <p>P 2 1 (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①小学校との連携とは？ ・②の研修とはどのような事をするのか？ <p>P 2 2 (4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的に小学校との連携は、日吉台小学校は八坂台はぐくみの森保育園か？
	回答	<ul style="list-style-type: none"> ・P1…令和3年度から始まる次期総合計画において、具体的な子育て施策が位置付けられると考えています。子ども・子育て支援事業計画の教育・保育施設等の需給計画としての性格も踏まえながら、次期総合計画との整合性を考慮し、必要に応じて見直しを行います。 ・P18…そのような事例は聞いておらず、ないものと考えています。医療的ケアが必要なケースなど重度の障害の場合は受け入れ態勢にも限界はあるかと考えますが、程度を踏まえ一律に障害児の預かりを断るといったことのないように事業者とも連絡を密にしていきたいと考えています。 ・P21・22…幼保と小学校の間でそれぞれの教育・保育の内容を共有することが大切だと考えています。そのために保幼小合同研修会の開催や、個別の子どものケースに応じた意見交換の場を設けることも行っています。P.22の点については、幼保には学区がないこともあり、個別に小学校と幼保を結んだ連携ではなく、全体として幼保と小学校がそれぞれの場での子どもの姿について、相互に理解しあう形をとっています。 <p>②の幼保合同研修については、教育・保育に係る様々なテーマについて大学教授などの専門家を招いて共に学び、共通理解を図る機会を設けています。また、研修でのグループワーク等を通して幼保職員間の交流を深め相互理解の促進を図っています。</p>
2	意見	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1子に対する祝金制度を。(他自治体では、第2子や第3子誕生には支援金(祝金)が出ていますが、まず結婚して出産したいという生活設計してもらうことが大切と思います。 2. 育児について、この課(この紙面)に記載して良いか分かりませんが、育児サポート制度の導入を。出産前・出産後(1ヶ月位)家事ができない母親のために、家事や買い物支援が必要と思います。もちろん有料で1時間〇〇円と定めての実施です。
	回答	<p>1については、子どもの減少には様々な理由があると考えられますが、経済的理由からそもそも子どもを持たないという選択がなされるということも考えられます。また2については、長時間労働等に起因する男親の育児参加が進まない中、育児の負担感から次子の出産をためらうことも考えられます。そのため、いずれも少子化対策としての有効性があるものと考えますが、具体的には次期総合計画の中で効果的且つ効率的な施策のメニューを考える中で検討していきます。</p>
3	意見	<p>就学前児童施設の課題解決の方策として、こども園への転換が挙げられていますが、慢性的な保育士、幼稚園教諭不足や東金市の財政状況を考え合わせると、こども園化が見通せない部分が出てきているように思います。前回出された施設集約や転換・統合の計画と実態(少子化のスピード)が、かけ離れてしまっています。例えば、保育所の充足率が下がってきていること、幼児教育・保育の無償化が始まっても幼稚園ニーズが高く、幼保こども園で、すみ分けが必要なことも読み取れます。統合・再編計画を早急に見直す必要がありますね。こども園化のみにこだわらず、幼稚園の統合など柔軟に進めて欲しいです。</p> <p>ソフト面で、公立幼、保、こども園が共通カリキュラムを使いながら、それぞれの施設の良さを活かした教育をすすめています。目的は同じなのですが、方策は施設によって異なりが出て構わないのです。</p> <p>職員が不安や負担を感じることはないような、職場環境作りをお願いします。</p> <p>職員が、心からのびのびと楽しく働ける職場であることが、子ども達にとっても何よりの大切な環境となります。</p>
	回答	<p>「東金市就学前児童施設の今後のあり方」で示している推計値を上回るペースで子どもの数が減少しており、今後そのスケジュール等の見直しも視野に入れた検討も必要になってくると考えます。このことは「あり方」の策定段階から考慮されており、ある程度のフレキシビリティを持った計画になっているところです。</p> <p>ご指摘のとおり、保育士不足により保育所の充足率は低下している状況であり、幼稚園の統合等によりマンパワーを保育ニーズに振り向けていくことも検討が必要になると考えます。同じ目的に対し、東金市職員が一丸となって対処していかなければならないと考えています。</p>
4	意見	<p>支援事業の内容は非常に良い内容かと存じます。</p> <p>保護者の立場で申し上げるならば、私の家庭は夫婦共働き世帯で御座いますが、保育所等のサービスに関しましては、十二分すぎるほどの満足度で御座います。しかしながら、保育料の増額(各家庭からの徴収額の増額)を是非とも検討して頂きたいと存じます。</p> <p>その理由と致しましては、現行、保育所利用されている方々は共働き家庭が多く、比較的世帯収入高いであろうと推測されます。(あくまで私見です)</p> <p>その方々は私も含めて意味のある負担額の増額に関しては、理解出来るであろうと思います。もちろん、なにがしかのセーフティネット(世帯収入により負担額減)をセットで行うことは前提にならうかと存じます。</p> <p>その増収分の使用用途としては、保育士の補充、及び職員の待遇改善、公務員にも働き方改革を推進すべく保育所非正規職員の正規職員への転換等に充当させて頂きたいと存じます。</p> <p>設備面は少子化の折、経年劣化による改修以外であれば十分に足りるであろうかと推測されますが、ソフト面(人材)での充実を図ることにより、私の家庭のように幼児一名の家庭はもう一人、幼児二名の家庭はもう一人というように考えられる家庭も増加すると存じます。</p> <p>私の家庭では結婚する際に、子供二人欲しいと考えていましたが、専業主婦(夫)では、生活が成り立たない為、共働き前提で育児を計画していました。しかしながら、現実には、二人目の育児を考えた場合、必ず保育所で預けられる担保がとれない限り、夫婦何れかが離職もしくは休業せざるを得ない為、二人目はあきらめようとの結論に達しました。</p> <p>ですので、もう一人預けられる確約をとる為には保育士の絶対数が足りないかと推測されますので、財源が限られた中で原資を捻出するには、受益者負担という面からも私のように共働きの家庭から保育料を増額して徴収することが望ましいと考えます。</p>
	回答	<p>ご指摘のとおり、保育士の絶対数の不足が大きな問題となっており、この第2期支援事業計画の目的を達する上でも保育士の確保が必要不可欠となります。その財源を議論する上で受益者負担についても考える必要があると認識しています。「東金で子育てをしたい」という点でどのように作用するかということも踏まえながら、また、保護者の方からこのようなご意見をいただくことの重さに思いを致しながら、検討していきたいと考えています。</p>

令和元年度第3回東金市子ども・子育て会議 委員意見（1回目）と市の回答

番号	区分	内容
5	意見	<p>1. この度の新型コロナウイルス対策による書面開催は残念ですが、諸般の事情と委員の皆さんの健康を考えると仕方のないことと理解します。自分も東金市の未来を形作る重要な会議と認識し責任感をもって参加させていただいている中で、委員の皆さんと顔を合わせ様々な意見に刺激を受けながら、より良い方向性を模索するのが会議としてとても重要だと思います。最終段階の会議でしたが、今後も地元の専門家や市民からの意見が反映されるような仕組みを続けてもらいたいと思います。</p> <p>2. 計画の内容としては特に指摘するところはありません。重要なのは今後の動向を注意深く見て、決まった施策にとらわれずに状況に応じて柔軟で素早い対応をすることが求められる事と思います。</p> <p>3. 先日の第2回会議の中で、ある委員の意見の中で幼稚園の3歳児の預かり保育を求める内容がありました。これを進めることによってまた子どもを産みたいと言う方もいるという具体的な声もあった中で、市の回答は「質」とか「体制」とかで検討もせず、やらない言い訳を並べていたように感じました。自分の感じ方の問題もあるのかもしれませんが、個人的にとっても危機感を覚えました。子どもたちに関わる部署として東金市の子どもたちを、その保護者を、東金市を良くしようという気持ちはお有りでしょうから、もっと現状の子育て環境に柔軟に協力していただければと思います。</p> <p>4. これまでの東金市に感じる雰囲気として危機感が足りないような気がします。頑張っている職員や市民がいることは知っていますが、全体的に活気が欲しい。地域の中核となる市として先頭を切って大胆な施策や情報発信をして行かないといけないと思います。今の子どもたちはYouTubeなどにも慣れ親しみ、親もほとんどがスマホから情報を得る時代です。子育てアプリの活用をはじめ、東金市公式YouTubeの再開など子育てにつながるツールは今いくらかでもあるはずですが、さらに、実際に引越してきたりしたときにまず訪れるのは市役所です。ある知り合いが東金市役所は他と比べ雰囲気が良くないと言っていました。市の窓口であり顔である市役所の活気は必須です。自分も地域のイベントでは主催側の役員が楽しくやれるよう心がけています。特に子育て世代は取り巻く環境が厳しいため自分の為になる、ならないの取捨選択の目が厳しいです。東金で子育てしようと思ってももらえる市を目指してください。</p> <p>5. 子どもたちが東金で生まれてよかった、東金で育ててもらってよかったと言ってもらえるよう今後も自分も協力させていただきます。</p>
	回答	<p>【こども課】子ども・子育て会議を残念ながら書面開催としたことについて、ご理解いただきありがとうございます。子育て世代の厳しい目を選んでいただけるような街とならなければ、本市の持続可能性に問題が生じるとの危機感を全庁的・全市的に共有し、若い世代に対応した情報発信を含めた子育てのための施策を講じていかなければならないと考えています。</p> <p>【学校教育課 3歳児の預かり保育について】</p> <p>幼い子どもたちが保護者や慣れ親しんだ家庭から離れ、幼稚園で集団生活を送ることは、想像以上に精神的かつ肉体的な負担が生じております。こうしたことから文部科学省の「幼稚園教育要領」においても、幼児の心身の発達の過程などに配慮し、1日の教育課程にかかる教育時間は「4時間を標準とすること」がうたわれているところでございます。</p> <p>現在、郡内の他の公立幼稚園においては、上記を踏まえ、預かり保育を実施しておりませんが、本市においては、保育需要の高まりを受け、4歳児・5歳児についてのみ、預かり保育を午後4時30分まで実施をしているところでございます。</p> <p>3歳児の預かり保育につきましては、4歳児・5歳児と比較して心身の発達面において、個人差が大きいことから、一人ひとりの発達過程を踏まえたきめ細かな対応が必要であり、午睡場所の確保や、それに伴う人員など、安全面を考慮しますと、現状の幼稚園の体制では困難であると認識しているところでございます。</p> <p>委員ご指摘のそうした保育需要に伴う要望につきましては、現在、進めておりますこども園化の中において、教育委員会としてもその責任を果たしてまいりたいと考えております。</p>